

財団からのお知らせ

【 6/23(土) 免疫と感染症に関する日仏セミナー開催のご案内 】

一般財団法人 日本パスツール財団主催の講演会“免疫と感染症に関する日仏セミナー”が6月23日(土)、新丸ビル10階の京都アカデミアフォーラムで開催されます。

日本パスツール財団は、今年の6月で設立2周年を迎えます。2018年が日仏修好160周年、パスツール研究所創立130周年の節目に当たることを記念し、生命科学分野における日仏間の研究交流をテーマとした講演会を開催する運びとなりました。

パスツール研究所は、京都大学並びに東京大学を研究パートナーとしてパスツール国際合同研究ユニットを立ち上げ、実質的に昨年来稼働しています。また、フランスを代表する科学者の一人でパスツール研究所長も歴任したフィリップ・クリルスキー博士は、免疫学の成果に関する統合的な思索を“偶然性と複雑性のゲーム”のタイトルで2014年に新著を上梓しました。同書は、“免疫の科学論—偶然性と複雑性のゲーム”として日本語に翻訳され、本年6月日本でも刊行される予定ですが、日本の科学研究に哲学的一石を投じることが期待されています。

因みに、日本パスツール財団の前身の日本パスツール協会は、日仏間の研究開発協力を促進する目的でフィリップ・クリルスキー所長(当時)の助言とイニシアティブで設立されました。本イベントが、広く生命科学に関心を持つ方々にとって、新しい知見のヒントになれば幸いです。

日時：2018年6月23日(土) 14時～18時 講演会 18時～20時 懇親会

主催：一般財団法人日本パスツール財団

後援：在日フランス大使館、パスツール研究所、東大医科学研究所、京大ゲノム医学センター

助成：公益財団法人原田積善会

協賛：大里研究所

協力：みすず書房、サイファイ研究所 ISHE

会場：京都アカデミアフォーラム(講演会)、京都大学東京オフィス(懇親会)
〒100-6590 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル10階

使用言語：日英同時通訳

定員：講演会 100名(先着順) 参加費は無料ですが、事前登録が必要です。
懇親会 60名(先着順) 参加費 5,000円 事前振込制。

申込み：別紙をダウンロードの上、FAX(03-6228-5365)またはe-mail(event@pasteur.jp)にてお申込みください。

プログラム

- 14:00-14:10** **日本パスツール財団・パスツール研究所挨拶**
マルク・ジュアン博士（パスツール研究所 国際部門長）
- 14:10-15:50** **パスツール研究所国際合同研究ユニットにおける共同研究**
1. 京都大学とパスツール研究所の合同研究
- 14:10-14:30 インフルエンザワクチンの免疫反応に関する統合オミックス解析
松田文彦教授（京都大学）及びアナヴァジ・サクンタバイ博士（パスツール研究所）
- 14:30-14:50 関連トピックスの紹介
平山謙二教授（長崎大学）
- 14:50-15:00 討議
2. 東京大学医科学研究所とパスツール研究所の合同研究
- 15:00-15:20 腸内微生物叢解析と粘膜免疫機構
植松智教授（東京大学医科学研究所）及びジェームズ・ディ・サント教授（パスツール研究所）
- 15:20-15:40 関連トピックスの紹介
シドニア・ファガラサン博士（理化学研究所）
- 15:40-15:50 討議
- 15:50-16:10** **休憩**
- 16:10-17:10** **特別講演**
- 16:10-17:00 “免疫の科学論—偶然性と複雑性のゲーム”
フィリップ・クリルスキー教授（元パスツール研究所長、コレージュ・ド・フランス名誉教授）
- 17:00-17:10 Q&A
- 17:10-17:40** **パネル・ディスカッション(モデレーター：ジェームズ・ディ・サント教授)**

フィリップ・クリルスキー教授（元パスツール研究所長）
本庶 佑特別教授（京都大学高等研究院）
湊 長博教授（京都大学副学長）
村上善則教授（東京大学医科学研究所長）
- 17:40-17:50** **閉会の言葉**（日本パスツール財団）
- 18:00-20:00** **懇親会**

[⇒申込書\(PDF\)をダウンロード](#)